

ふれあい記録

実施日：平成29年9月21日

当番者名：功力満紀子 市瀬英雄

コース名：(独自コース51番) 扇山 (通し番号 第133回) 天 候：晴れ
参加者名：相川 勲、市瀬英雄、岩崎宗郷、江口正彦、小俣悦男、神谷順子、功力満紀子、熊谷信雄、柴崎幸治、新海 昭、西村寿文、根本邦子、細矢清志、堀井克子、宮原さち子、宮原宏至、山奥利光、山腰策次郎 <ビジター> 鈴木順治、鶴岡重典、林 洋、船橋エイ子 計 22名 (男性16名 女性6名) (五十音順)
交 通 (時刻) (往) 京浜東北・根岸線：横浜(6:08発)→東神奈川(6:11着) 横浜線に乗換：東神奈川(6:13発)→八王子(7:08着) 中央線快速に乗換：八王子(7:17発)→高尾(7:24着) 中央本線に乗換：高尾(7:27発)→四方津(7:56着) バス：四方津駅発(8:34)→犬目バス停着(8:50) コースタイム (時刻) 四方津駅集合(8:00) 犬目行・バスに乗車(8:34)→犬目バス停着(8:50)→犬目登山口(9:00) 歩→犬目丸分岐(10:00) オレンジタイム→扇山山頂着(11:10) 昼食時間40分→下山開始(11:50)→梨ノ木平着(13:20) コーヒータイム→鳥沢駅着15:00 解散。
みどころ 頂上一帯は、明るい草原状で南から東にかけての展望が素晴らしく、三つ峠、御正体山の向こうに裾野を広げる秀麗な富士山を一望、遠く南アルプスが望め、東には陣馬山、生籐山が連なる、時には足元に大野貯水池、相模湖、更に上野原の街並みがパノラマの様に見える
自然観察 頂上や下山路では黄色のマルバダケブキ、真っ赤な彼岸花・シュウメイギク、白のシモバシラ等々の花々が多数咲いていて、トンボや黄色の珍しい大きな蝶々が優雅に飛び回っていた。初秋の里山ならではの雰囲気を楽しませてもらった。
特記事項 * 扇山は標高1138m で山梨百名山の一つ。山名の由来は南側から見たとき、扇を広げたように幅広く見えるからという。 * 扇山へは通常鳥沢から四方津へ下るコース、今回は逆コースを採用 * 四方津駅からバスで終点の犬目の登山口まで行ったのは正解、当初計画の歩き又は途中の大野貯水池までであったら相当きつかった。 * 山名由来の伝説 その昔神功皇后が福岡県箱崎で産気づいた時、武官に弓を射るよう命じて、命中した的の扇が光を放ち天高く飛び、この地に落ちて山となり、応仁天皇が無事生誕したと伝えられている